



特集 地上に降りた天の川 古利根川流灯まつり

8月3日(土)・4日(日)、古利根川河畔にて「第29回古利根川流灯まつり」が開催されました。一疊ほどの大型灯ろう約250基が並ぶさまは、まるで地上に舞い降りた天の川のように幻想的な風景です。

また、大好評の「遊覧船」が金曜日より3日間運航され、商工会青年部による人力車の運行など様々な催しが行われました。川面に映る美しい光の帯、そしてまつりで体験したすべての出来事は、訪れた人のひと夏の思い出となったことでしょう。

産業振興課
商工観光担当 内線305



話題 TOPICS

バスセルトン市、
富岡町との交流が深まる

コロナ禍で交流が中断されていた姉妹都市の西オーストラリア州バスセルトン市から、8年ぶりにフィル・クロニン市長とトニー・ノットルCEOとバスセルトン市姉妹都市委員会ポーリン・ヴェューケリック会長が、訪問団として来日しました。一行は前夜祭から参加し、杉戸ボートクラブの遊覧船に乗船するなど、杉戸町を象徴する大型灯ろうを二夜にわたり楽しんでいました。

また、友好都市である福島県富岡町からは、5名の職員が、7月31日の炎天下の中で行われた係留作業に参加し、ライトアップされた伝統的な灯ろうの美しさに圧倒されたと言っていました。

住民協働課

話題 TOPICS

古利根川流灯まつりを
支える杉戸ボートクラブ

毎年多くの人々を魅了する、「地上に降りた天の川」と言われる古利根川流灯まつりで、大型灯ろうの係留・回収作業に加えて、令和4年度より開始し、好評を博している遊覧船の運営を行っている杉戸ボートクラブ。町内事業者を中心としたボランティアの有志14名で組織され、古利根川流灯まつりをはじめ、近隣で行われる河川空間でのイベントに協力しています。

産業振興課



8月2日(金)
「マチナカリビング」
流灯前夜祭 開催！



杉戸・宮代で活躍する魅力的な「ひと・もの・こと」が大集合し、大型灯ろうが係留されている古利根川を中心に、道路・川辺・広場の公共空間を活用した社会実験を行いました。

「ココティスぎと」や古利根川の散策路、宮代町の公共空間に地元事業者の出店やeスポーツ体験等、くつろげる空間づくりを試みました。

町市街地整備推進室 内線382

